

西都市 宮崎県



秋風が吹く10月下旬、特別史跡・西都原古墳群のある宮崎県の西都市を初めて訪ねました。このまちにも与那原町に続いて取り組まれた「まち角の図書館」がある場所です。以前、西都にも「まち角の図書館」を作りたいと本市に相談に来られたことからのご縁です。西都まち角の図書館代表・浜田幸一さんにお話をお聞きしました。



まち角の図書館第1号

子どもたちのために

新しい取り組みを



西都市では、子どもたちの活字離れを心配し、何とかして本に親しんでもらうことほできないかと、青年会が主体となり、本の読み聞かせ運動が始まったそうです。しかし、それでも十分ではなく、そのほかにも何かないかと考えていました。ちょうどその時、新聞で池田のまち角の図書館のことを知り、「面白い取り組みをしている所があるな」と思われたそうです。

西都ユネスコ協会の仲間4人で、本市の古家会長を訪ねることに。本市ではすでに4号

館がオープンしており、どの「まち角の図書館」も設置場所が考慮されて建てられており、中は本でいっぱいになっていました。どうすればこのような取り組みができるのか古家会長にいろいろとアドバイスを受け、本市から図書を送る約束を交わし、夢をいっぱいに西都に帰られました。

動きだす

まち角の図書館をつくる運動



帰るとすぐに、西都まち角の図書館をつくる運動を開始。補助金50万円で、市役所近くの金融機関の土地を、当時の支店長の協力により無料で借り、平成3年11月にはオープンにこぎ着けることができました。「オープン式には、池田のまち角の図書館・古家会長さんよりお祝いのメッセージを頂き、ありがとうございます」と浜田さんよりお礼の言葉を頂きました。

平成4年11月には国鉄妻線（昭和59年廃線）の穂北駅跡の近くに2号館がオープン。道を隔てた向かいにある散髪屋さんが2号館のお守り役で、本が少なくなると電話でメンバーに連絡し補充をしているそうです。西都市でも、本は市民から提供していただいているの

ですが、人口が少ないため本の提供も少なく、それが悩みの種だそうです（本の提供を約束して帰りました）。

鍵は心の中へ

善意で通じる心の輪



「これからも、鍵は利用者の心の中にしまい、善意ある豊かな心の輪を広げるこの活動が続けます。池田市のまち角の図書館との交流をこれからもよろしく願います」。西都市のまち角の図書館のメンバーの皆さんから古家会長に対する尊敬の気持ちが痛いほど伝わり、池田の良さを感じた取材でした。



まち角の図書館第2号館前で「西都まち角の図書館」メンバー（一番左が浜田さん）らと撮影



まち角の図書館第2号館



まち角の図書館第3号館

この辺りは島が多く島の漁業の方たちから、「島には本屋も図書館もないので、ぜひまち角の図書館を」との要望がたくさん来ています。また、協力者や利用者からは、「自分の提供した本が本棚に並んでいる事に満足感を感じる」「いつでも好きな時に本

親の介護で佐世保に帰る回数が増え、退職後長く離れていた地元へ恩返しをしたいが自分が何ができるかを考えていた時に思い出したのが、「まち角の図書館」だったそうです。これだったら自分にもできると思い、40年ぶりで故郷に帰り佐世保商業高校の卒業生に声掛けをし、「風の又三郎とその仲間達」の名称でまち角の図書館を無期限、無制限、無記名を条件にボランティアで設置することを決定。「これみーん

「官が後押しして民が動く。官のサポートで民が動く。言葉は大変いいのですがなかなか難しいことですね。私たちは、すぎ間産業のようなものだと思いません」と話されました。この辺りは島が多く島の漁業の方たちから、「島には本屋も図書館もないので、ぜひまち角の図書館を」との要望がたくさん来ています。また、協力者や利用者からは、「自分の提供した本が本棚に並んでいる事に満足感を感じる」「いつでも好きな時に本



これからも

喜びの声に支えられて

な池田のバクリです」いたずらっぽくほほえまれました。そして、良い協力者ができ、動き出したのが平成17年10月ごろだったそうです。



まち角の図書館1号館前で撮影した「風の又三郎とその仲間達」の溝上さん(写真右)と横澤さん

地元への恩返しのために

始めた運動



長崎県佐世保市。ここにも池田のまち角の図書館の姉妹図書館が誕生しています。ある日、知人から長崎新聞に「まち角の図書館」が載っていることを聞き、11月にしては暖かい穏やかな日、「風の又三郎とその仲間達」代表の溝上又男さんに取材を申し込みました。

が借りられる」など、喜びの声も聞かれます。特に70・80代の方たちの声を聞くことが多いそうです。

動きだす友好の輪



「今は、自分の資産でやっていますが、将来は青年会議所か社会福祉協議会などに任せればと思っています。昨年1年の間に5館を設立する予定でしたが、場所がなかなか見つかりませんでした。できれば19年度に2館(4・5号館)設立したいと思います。その際はぜひ佐世保に来てください」との言葉を頂き、私も再び訪問することを約束して帰りました。

☆すべての取材を終えて

池田に帰るとすぐに、池田のまち角に図書館をつくる実行委員会へ報告。同委員会から段ボール2箱分の本を、3つのまちそれぞれに送ってもらいました。「仲よし同盟」を結んだ友情のまち・与那原町、自然に恵まれた口マンのまち・西都市、昔からなじみのあるような雰囲気のみち・佐世保市。今後まち角の図書館の輪が全国各地に広がり、多くの人たちと交流ができればと思います。取材に協力してくださった皆さん、私を温かく迎えていただきありがとうございました。